

令和3年度 佐賀県学習状況調査の結果（令和3年12月1、2日実施・5年生）

- ◎ 本資料では、東部小学校全体（各学年）の結果について考察しています。別紙にてお知らせしている、「お子様の個票（調査結果票）」や、後日配布します問題用紙及び解答用紙と併せて振り返っていただき、今後の学習に活かすことができるような資料としてお役立てください。

1 【国語】

(1) 結果（県の正答率との比較）

- 「知識・技能」、3つの観点（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）について、県平均正答率、到達基準（県の定めた期待正答率）を上回りました。
- 一方で、「読むこと」においては、到達基準を少し下回りました。
- しかし、無解答率も県平均より低く、全体的にすばらしい結果でした。

(2) 成果と課題（学校正答率より）

知識・技能

- ・ 慣用語の使い方、漢字や語句を文章の中で正しく使うことができます。一方で、文脈に即して漢字を正しく使う問題（「置いた」）に課題があります。

話すこと・聞くこと

- ・ 目的や意図に応じて日常生活の中から話題を決めること、話し手に適切に質問すること、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめることができます。
- ・ 一方で、話し合いにおける司会の役割を果たしながら話し合いを進めることに課題があります。

書くこと

- ・ 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること、資料から必要な語句を引用すること、筋道の通った文章となるように文章全体の構成や展開を考えること、相手や目的を意識した表現になっているか確かめ文を整えることができます。

読むこと

- ・ 文章と図表を結びつけて読むこと、中心となる語や文を見つけて要約すること、文章全体の構成を捉えたり要旨を把握したりすることができます。

2 【算数】

(1) 結果（県の正答率との比較）

- 「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「数と計算」、「図形」、「データの活用」については、県平均正答率を上回りました。
- 一方で、「測定・変化と関係」については、県平均正答率を下回りました。
- しかし、算数でも無解答率は県平均より低く、全体的にすばらしい結果でした。

(2) 成果と課題（学校正答率より）

数と計算

- ・ 偶数や公約数、体積の求め方についてよく理解しています。一方で、公倍数について理解し、問題の条件に応じて適切に説明することに課題があります。

図形

- ・ 合同な図形、立方体の展開図、図形の構成要素、体積とかさの単位の関係についてよく理解しています。各領域での課題はほとんど見られませんでした。考えを文章で説明することに、少々課題が見られます。

測定・変化と関係

- ・ 伴って変わる二つの数量の関係に着目し、それらが比例していない理由を説明すること（記述式）に課題があります。

データの活用

- ・ 仮の平均を用いた考えを解釈し、求めた値が何を表しているかを説明することができます。
- ・ 一方で、表から分かることを考えることに課題があります。